

第11回「演習課題への挑戦(4)」

これまでのゼミの資料は、次のサイトに公開されています。印刷した資料が必要な場合は、サイトからプリントアウトしてください。

- <http://arena.hyogo-dai.ac.jp/~kawano/kisozemi/>
- ゼミに関する書籍などの情報もあります。

今後のスケジュール

- 第11回 (2010-06-30) 「演習課題への挑戦(4)」 < - - - - - 今ココ
 - レポートのタイトルを決定し、レポートの方針を決める。
 - 必要な資料を収集し、レポートを作成する。
- 第12回 (2010-07-07) 「学習成果の表現方法について」
 - 自分のレポートを作成し、添削を受ける。
 - 自分のレポートについて、プレゼンテーションをレジュメ(下書き)を作成する。
- 第13回 (2010-07-14) 「成果の発表(1) 文書や口頭」
 - 自分のレポートを完成する。
 - 自分のレポートについて、プレゼンテーションの練習をする。
- 第14回 (2010-07-21) 「成果の発表(2) 文書や口頭」
 - プレゼンテーションを相互評価する。
 - プレゼンテーションの内容を見直す。
- 第15回 (2010-07-28) 「成果の発表(3) 文書や口頭」
 - 自分のレポートについて、最終のプレゼンテーションをする。

レポートのタイトル

自分のレポートのタイトル

後日変更してもかまわないが、事前に相談すること！

大まかなテーマ	「子どもと携帯電話(ケータイ)」または「学校と携帯電話(ケータイ)」
具体的なタイトル (疑問文で)	
問題提起	
自分の主張(結論)	
主張の理由 (資料などにもとづく根拠)	

各自のタイトル

後日変更してもかまわないが、事前に相談すること！

学籍番号	レポートのタイトル
H2101014	
H2101019	
H2101027	
H2101028	
H2101032	
H2101034	
H2101035	
H2101036	

タイトルの決定からレポートの提出までのながれ

たとえば、2週間程度で書く場合は、次のようなスケジュールになる

1. 大まかなスケジュールを立てる(1日程度)
2. 主題(タイトル)の決定(5～6日程度)
 - 資料を集めて整理する(3～4日程度)
 - 問題提起とそれに対する自分の主張(仮説)の決定(1～2日程度)
 - (必要であれば)タイトルの再検討
 - 全体の構成やアウトライン(骨組)を決める(1日程度)
3. レポートを執筆する(1週間程度)
4. レポートを推敲する(1日程度)
5. レポートを提出する

レポートの構成の例

- 1. 序論(はじめに、など)
 - 背景の説明、問題提起、自分の主張の提示
- 2. 本論
 - 提起した問題の現状などを説明
 - 専門用語を解説(必要に応じて)
 - 自分の主張にあった事実・出来事・対策などを説明(必要であれば引用も)
 - 反対意見を想定してみても、それに対する解決策を説明
 - 自分なりの意見を、論理的に説明
- 3. 結論(まとめ、おわりに、考察、など)
 - 全体を通して、自分のをまとめる
 - 具体的な提言や、今後の課題などがあれば述べる
- 参考文献
 - 引用した資料や参考にした資料を提示

[再掲] インターネットを利用して関連資料を探す

資料探しへの取り組み方

1. テーマに関する全体的な知識や動向を調べる
2. テーマに関する基礎的な知識や専門用語などを調べる
3. テーマに関する最新の知識や動向を調べる
4. テーマに関連する他の分野の知識や情報を調べる

探した情報は、どこにある情報かを記録して、コピーまたは印刷して保存しておきましょう。

- ネット上の情報は「お気に入り」に追加しておき、印刷もする
- 図書・文献は、コピーをしたり「文献メモ」を作成しておく

ネットを使って探す（公的情報源、白書、統計資料など）

- 情報通信白書（総務省：<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/>）
- 統計調査結果（e-Gov 電子政府の総合窓口：<http://www.e-gov.go.jp/link/statistics.html>）
- サイバー犯罪対策（警察庁：<http://www.npa.go.jp/cyber/>）
- ハイテク対策（警視庁：<http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/haiteku/>）
- 情報セキュリティ（情報処理推進機構：<http://www.ipa.go.jp/security/>）
- インターネットホットライン連絡協議会（<http://www.iajapan.org/hotline/>）

ネットを使って探す（専門に関する情報）

- INETERNET Watch（インプレス：<http://internet.watch.impress.co.jp/>）
- ネット・ウィルス情報（asahi.com：<http://www.asahi.com/digital/internet/>）
- ネット＆デジタル（YOMIURI ONLINE：<http://www.yomiuri.co.jp/net/security/>）
- デジタル（日経トレンドネット：<http://trendy.nikkeibp.co.jp/digital/>）

ネットを使って探す（文献情報など）

- 文献の題目・著者・本文などで検索
 - CiNii 論文情報ナビゲータ（国立情報学研究所：<http://ci.nii.ac.jp/ja>）
 - Google Scholar（Google：<http://scholar.google.co.jp/>）
- OPAC（蔵書カタログ）の検索
 - 大学のOPAC（兵庫大学：<http://arena.hyogo-dai.ac.jp/lib/>）
 - Webcat plus（国立情報学研究所：<http://webcatplus.nii.ac.jp/>）
 - NDL-OPAC（国立国会図書館：<http://opac.ndl.go.jp/>）
- 電子ジャーナル
 - J-STAGE（科学技術振興機構：<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja>）
 - ScienceDirect（エルゼビア：<http://www.sciencedirect.com/>）

参考文献

- 学習技術研究会編著「知へのステップ 改訂版」，くろしお出版（2006.10）
- 専修大学出版企画委員会編「知のツールボックス」，専修大学出版局（2006.04）.
- 佐藤望編著，湯川 武，横山千晶，近藤明彦「アカデミック・スキルズ」，慶応義塾大学出版会（2006.10）.
- 小笠原喜博「大学生のためのレポート・論文術」（講談社現代新書 1603），講談社（2002.04）.
- 河野哲也「レポート・論文の書き方入門 第3版」，慶応義塾大学出版会（2002.12）.